

# 平成27年 火災と救急救助の概要

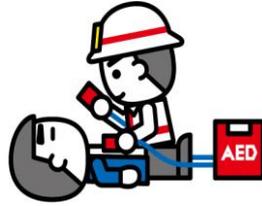
消防本部予防室 (☎ 0595-82-9492)

消防本部消防救急室 (☎ 0595-82-9496)

**火災 12 件**



**救急 2,017 件**



**救助 29 件**



## ●火災の概要 【消防本部予防室】

平成27年中の火災件数は12件で、前年に比べて24件減少しました。また、火災による死傷者は0人でした。

項目別では、建物火災が2件で前年に比べて9件減少し、うち住宅火災は0件でした。

火災原因の多くは、たき火、枯草焼きなど火の不始末や不注意によるものでした。

火を取り扱う際は、その場を離れない、消火器を準備しておくなど十分注意しましょう。

項 目		平成26年	平成27年	前年比
火災件数	建物火災	11	2	-9
	林野火災	3	2	-1
	車両火災	11	4	-7
	その他火災	11	4	-7
	合 計	36	12	-24
死傷者	焼死者(人)	3	0	-3
	負傷者(人)	2	0	-2

※その他火災とは、建物、林野、車両に該当しない火災です。(例：空地の枯草や田畑の火災など)

主な出火原因	平成26年	平成27年
	放火・放火の疑い	たき火
	たき火	枯草焼き
	排気管(車両)	排気管(車両)
	内燃機関(車両)	

●救急救助の概要 【消防本部消防救急室】

■救 急

・事故種別出動件数、搬送人員（表1）

平成27年中の出動件数は2,017件、搬送人員は1,907人で、前年と比べて出動件数は25件減少し、搬送人員は24人減少しました。

1日の平均出動件数は5.5件で、平均搬送人員は5.2人となっています。

事項種別では、急病によるものが最も多く、次いで一般負傷、交通事故の順となっています。

（表1）

事故種別		年 別		前年比
		平成26年	平成27年	
火 災	出動件数	8	6	-2
	搬送人員	1	0	-1
自然災害	出動件数	0	2	+2
	搬送人員	0	0	±0
水 難	出動件数	0	0	±0
	搬送人員	0	0	±0
交通事故	出動件数	274	252	-22
	搬送人員	293	258	-35
労働災害	出動件数	36	22	-14
	搬送人員	34	21	-13
運動競技	出動件数	15	11	-4
	搬送人員	15	10	-5
一般負傷	出動件数	316	303	-13
	搬送人員	296	286	-10
加 害	出動件数	10	8	-2
	搬送人員	8	8	±0
自損行為	出動件数	23	15	-8
	搬送人員	13	10	-3
急 病	出動件数	1,264	1,270	+6
	搬送人員	1,183	1,189	+6
その他	出動件数	96	128	+32
	搬送人員	88	125	+37
合 計	出動件数	2,042	2,017	-25
	搬送人員	1,931	1,907	-24

・被搬送者の傷病程度別比率（表2）

平成27年中の被搬送者1,907人における傷病程度の比率は、軽症が1,002人で52.5%、中等症が734人で38.5%、重症が116人で6.1%、死亡・その他が55人で2.9%となっています。前年と比べて軽症の占める比率が減少しました。

（表2）

年 別		平成26年	平成27年
傷病程度			
軽 症	搬送人員	1,049	1,002
	比 率	54.3%	52.5%
中等症	搬送人員	726	734
	比 率	37.6%	38.5%
重 症	搬送人員	107	116
	比 率	5.6%	6.1%
死亡・その他	搬送人員	49	55
	比 率	2.5%	2.9%
合 計	搬送人員	1,931	1,907

※ 軽 症：入院を必要としないもの

中等症：入院を必要とするもので、重症に至らないもの

重 症：三週間以上の入院加療を必要とするもの

死 亡：初診時において死亡が確認されたもの

その他：医師の診断がないものなど

・被搬送者の年齢区分別比率（表3）

平成27年中の被搬送者における年齢区分別比率は、高齢者が1,034人で54.2%、成人が690人で36.2%、少年が73人で3.8%、乳幼児が109人で5.7%、新生児が1人で0.1%となっています。高齢者の占める比率が増加傾向にあります。

（表3）

年 別		平成26年	平成27年
年齢区分			
高齢者	搬送人員	1,035	1,034
	比 率	53.6%	54.2%
成 人	搬送人員	706	690
	比 率	36.6%	36.2%
少 年	搬送人員	87	73
	比 率	4.5%	3.8%
乳幼児	搬送人員	101	109
	比 率	5.2%	5.7%
新生児	搬送人員	2	1
	比 率	0.1%	0.1%
合 計	搬送人員	1,931	1,907

※ 高齢者：65歳以上の者

成 人：18歳以上65歳未満の者

少 年：7歳以上18歳未満の者

乳幼児：生後28日以上7歳未満の者

新生児：生後28日未満の者

・医療機関への市別搬送比率（表４）

平成２７年中の市別医療機関における搬送比率は、市内医療機関への収容率が４９．２％で、市外医療機関への搬送が５０．８％となっています。

（表４）

市 別		年 別	平成２６年	平成２７年
亀山市	搬送人員		９４８	９３８
	比 率		４９．１％	４９．２％
鈴鹿市	搬送人員		７３６	７１２
	比 率		３８．１％	３７．３％
津 市	搬送人員		１３２	１４７
	比 率		６．８％	７．７％
四日市市	搬送人員		９５	９７
	比 率		４．９％	５．１％
その他	搬送人員		２０	１３
	比 率		１．１％	０．７％
合 計	搬送人員		１，９３１	１，９０７

・現場到着・病院収容までの平均所要時間（表５）

平成２７年中の現場到着までの平均所要時間は、８．７分で前年と比べて１．１分短縮しました。また、病院収容までの平均所要時間は、４０．６分で前年と比べて３．７分短縮しました。

短縮した要因は、平成２７年度４月に北東分署を開署した効果などが考えられます。

（表５）

所要時間	年 別	平成２６年	平成２７年	前年比
現場到着（分）		９．８	８．７	－１．１
病院収容（分）		４４．３	４０．６	－３．７

## ■救 助

平成27年中の救助件数は29件で、前年に比べて5件減少しました。また、台風15号の影響により市内の道路が冠水し、車内に閉じ込められる救助事案が発生しました。災害はいつ起こるか分かりません。日頃から災害に対して備えましょう。

救助の概要		26年	27年	前年比
事故種別件数	交通事故	21	21	±0
	水難事故	0	0	±0
	建物等による事故	3	1	-2
	風水害等 自然災害事故	0	1	+1
	機械による事故	3	0	-3
	その他の事故	7	6	-1
	合計	34	29	-5

※その他の事故とは、交通事故、水難事故などに該当しない事故です。  
(例：空地の枯草や田畑の火災など)

## ■救急車の適正利用と救急医療情報システムの利用

救急車の適正利用については、広報「かめやま」、ZTVの文字情報や救急講習会などを通じて、市民の理解と協力をお願いしていますが、依然として明らかに軽症と思われる方、タクシー代わりの出動要請など緊急性の低い事例がみられます。

「救急」の場合は、希望の医療機関へ搬送できるとは限りません。また、医療機関では、重症者の治療が優先されます。

救急車を呼ぶほどではないが、すぐに受診を希望される場合は、下記の《救急医療情報システム》を利用してください。

### 《救急医療情報システム》

パソコン **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/>

携帯電話 **URL** <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>

自動案内 ☎0800-100-1199 (通話料無料・ファックスでも受信可能)

医療情報センター (対人案内) ☎82-1199

※受診の際は、必ず紹介された医療機関に事前確認してください。

※救急車を呼ぶべき症状について詳しくは、市消防本部のホームページをご覧ください。

(**URL** <http://www.city.kameyama.mie.jp/shobo/index.html>)